



200種を超える湿性植物の一大群落地

鯉ヶ窪湿生植物群落



指定区分	国指定天然記念物
読みかた	こいがくぼしっせいしよくぶつぐんらく
所在地	新見市哲西町矢田
指定年月日	昭和55年3月6日
解説	オグラセンノウ、ビッチュウフウロ、ミコシギクなど200種を超える植物が自生する湿性植物の一大群落地であり、「西の尾瀬」ともいわれる。
アクセス方法	JR矢神駅から約4.5km
公開状況	自由 / 問: 鯉ヶ窪湿原湿原管理事務所 0867-94-2347
設備	トイレ  駐車場 
備考	毎年5月3日には鯉ヶ窪祭りが開催され、「太鼓田植」の実演など行われています。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	鯉ヶ窪湿生植物群落
よみかた	こいがくぼしっせいしょくぶつぐんらく
しょざいち (所在地)	新見市哲西町矢田
していたひ (指定した日)	昭和55年3月6日
せつめい	200種類(しゆるい)以上の植物(しょくぶつ)が自然(しぜん)に生えて育っています。「湿原」(しつげん)とは、とても水分の多い陸地(りくち)や、ごく浅(あさ)い水面(すいめん)が、広がっている場所のことです。湿原は「夏が来れば思い出す はらかな尾瀬(おぜ)・・・」でおなじみの福島県(ふくしまけん)・群馬県(ぐんまけん)・新潟県(にいがたけん)にまたがるの尾瀬(おぜ)が有名です。